

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民病院 事務局			内線等	95 -1224
事務事業名	病院職員給与等支給事業			事業コード	2 . 内部管理事務事業		
根拠法令等	給与条例、施行規則			B 条例	C 規則		

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	職員の給与を
手 段	事務局給与担当職員の事務及び電算委託により
想定する成果	条例、規則に従い、正確、迅速に支給する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	13,233千円	13,277千円	13,337千円
延べ支給人員	4,963人	5,315人	5,748人
過払返納件数	4件	13件	8件

成果指標

成果指標名	給与支給職員 1 人当たり事業費	給与過払返納割合
成果指標の説明	事業費（担当職員人件費）÷延支給人員	給与過払返納件数÷延支給人員

事業の進捗状況 （ 病院事業 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		2,666円				2,498円				2,320円			
成果指標		0.081%				0.245%				0.139%			
事業費	事業費												
	人件費	13,233				13,277				13,337			
	(人数)	正規	1.7	非常勤		正規	1.7	非常勤		正規	1.7	非常勤	
	合計	13,233				13,277				13,337			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	13,233				13,277				13,337			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	過払返納件数のほとんどは職員の届出遅れや育休等による、やむを得ない理由によるものであり、正確な給与支給ができています。
経済効率性	3	3	3	3	最小限の職員数で事務を執行している。
事務効率性	3	3	3	2	職員間で事務量の偏在は多少あるものの、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	9	12	9	11	
施策への貢献度	1	-	1	-	
合計	10	12	10	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	職員給与は義務的経費であり、給与支給事務事業の存否を論ずることはできない事業である。しかし、財政状況の厳しい中、人件費の抑制、コストの縮小、事務の合理化を更に進めていく必要がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
給与担当者間の協力体制
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

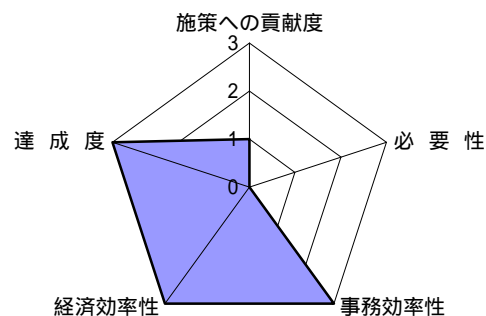
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点